

国際文化研究科 国際文化専攻 ディプロマ・ポリシー

博士前期課程では、外国語による豊かなコミュニケーション能力を前提に、外国語と外国語で書かれた資料を扱う能力を十全に備え、国際社会および地域社会における様々な社会的・文化的諸問題に精確に対応できる研究力を身につけることを目指している。

博士後期課程では、国際社会に対する高度で専門的な知識と問題解決能力＝研究力を発揮して、社会の第一線において指導的組織者として活躍できるような実践力を身につけることを目指している。

	博士前期課程	博士後期課程
① 幅広い視野を持って国際文化を研究する力	国際社会と地域社会の両方に軸足を置き、多文化・多言語への視野をもって国際文化研究に取り組む力を身につけている。	国際社会と地域社会の両方に軸足を置き、多文化・多言語への視野をもって国際文化研究に取り組む力を身につけている。
② 専門的知識・能力	十分な語学能力に基づいた自分分野の高度な知識を持ち、その知識を運用できる能力を身につけている。	研究者として、自分分野の高度な知識とその運用能力を持ち、独創的な研究を行う能力を身につけている。
③ 研究課題の発見	広い視野と柔軟な感性に基づいて、自ら研究課題を発見する力を身につけている。	広い視野と柔軟な感性に基づき、研究者として自ら研究課題を発見し、深化させていく力を身につけている。
④ 研究遂行能力	自らの問いに対し仮説を設定し、その仮説を検証するために適切な研究方法を構築し、情報を収集・分析し、仮説を認知バイアスとすることなく、その是非を的確に判断する力を身につけている。	自らの問いに対し仮説を設定し、その仮説を検証するために適切な研究方法を構築し、情報を収集・分析し、仮説を認知バイアスとすることなく、その是非を的確に判断する力を身につけており、研究者として自立することができる。
⑤ 知的交流と情報発信力	研究内容を論理的に咀嚼し説明するコミュニケーション能力を身につけている。	研究内容を論理的に咀嚼し説明するコミュニケーション能力と、自分の研究内容を学界にて公表していく力を身につけている。
⑥ 倫理観	研究に際して必要な高い倫理観を身につけている。	研究者として研究に必要な高度な倫理観を身につけている。